

村井 勝彦 議員

地区懇談会の取り組みは

問 青少年健全育成事業のうち、地区懇談会の開催に係る検討状況および今後の対応は。

答 アンケート調査結果から、「子どもの現状を知るよい機会」など、有意義との意見があるものの、「人が集まらない」「役員等の負担が大きい」など、運営面において課題があることから、今後においては、地区の実情に合わせた取り組みを行い、地区懇談会は任意の開催とした。

コミュニティセンター化の取り組みは

問 まちづくり協議会の設立の取り組みは。

答 自治会連合会長をはじめ、公民館長等が中心となり、組織を立ち上げていただくよう、今後、協議を行ってまいります。



市道東同笠油山線

市道東同笠油山線の

整備の取り組みは

問 整備途中における仮設道路等の安全対策は。

答 支障電柱の先行移転や、取得した道路用地の一部を暫定的に拡幅し、走行性や安全性の確保に努める。とりわけ、松和橋下流側の道路幅が狭く、見通しの悪い区間は、早急に対応してまいります。

佐野 武次 議員

防潮堤整備事業の推進

問 本年度、県と覚書を締結した区域以外の砂防林は、松くい虫防除を行うが、事業を進めていく上で支障はないか。

答 砂防林は保安林であることから、県が保安林の保全と松くい虫被害の拡散防止のため、防除を行っているが、塩害による松枯れも進行していることから、状況を確認しつつ、県とも協議し、防潮堤整備の推進に努めたい。

問 他の自治体に先駆けて、まずは市が施工する標高10mまでの盛り土を、全線行うべきではないか。

答 県と覚書を締結した4km以外の砂防林は、松が枯れていないため伐採できないことから、まずは、この区間の早期完成に取組むが、松枯れは今後も進行すると推測されるため、枯れた区間から整備することを基本として事業の促進を図りたい。

デマンドタクシーの

他市への乗り入れは

問 浅羽南地区は隣接する福田地区や大須賀地区との結びつきが強いことから、乗り入れの検討はできないか。

答 他市への乗り入れは、実態の把握と、磐田市・掛川市との協議も必要であることから、平成30年度の公共交通の見直しの中で検討してまいります。



防潮堤整備事業